

R6年度 事業名	スポーツ推進委員活動事業
R5年度 事業名	スポーツ推進委員活動事業

総合戦略 体系	345	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生涯スポーツの推進
------------	-----	--------------------------------	------------------	-----------

PLAN計画

部署名	スポーツ課		開始年度	0	終了年度	9999
目的	スポーツ推進委員(地区推薦および公募、任期2年・定員30名)を各種研修等に派遣、資質向上を図り、スポーツに関する助言・指導の体制を整備し、生涯スポーツの振興を図る。					
概要	ニュースポーツ教室・出前講座の開催実施や、各種イベントに際し主催者とともに協働する。					
法令等根拠	スポーツ基本法(第32条)、鯖江市スポーツ推進委員に関する規則		実施形態	内容	スポーツの推進のための事業実施に係る連絡調整、住民に対するスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導および助言を行う。	
現在	市直営					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	出前講座開講回数・ニュースポーツ教室開催回数		回	目標値	25	25	25	25	25
				実績値	26	32	44	51	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	出前講座・ニュースポーツ教室参加人数		人	目標値	250	250	400	500	600
				実績値	340	418	1320	1106	
	計算 根拠	出前講座・ニュースポーツ教室参加人数		達成率	136.0	167.2	330.0	221.2	
				実数値					
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,841	1,307	2,184	2,086	2,277		事業タイプ	単独事業
	決算額	833	965	1,602	1,406	1,586		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	6	1	101	委員報酬	840	900
	2	10	6	1	201	保健体育事務諸経費	6,405	1,207
	3	10	6	1	601	スポーツ推進委員協議会等負担金	20	20
	4	10	6	2	202	生涯スポーツ推進事業費	5,506	150
	5以降							
							合計	2,277

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	スポーツ教室参加料		10	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	10

事業要員	正規職員	0.6
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	スポーツ推進委員によるニュースポーツ教室や出前講座を継続することにより、生涯スポーツの裾野を広げていきたい。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	ニュースポーツ教室、出前講座ともに活動・成果指標の目標値を上回る実績となり、市民の生涯スポーツ振興を図ることができた。(ニュースポーツ教室27回237人、出前講座17回1,083人)特に出前講座は、17回実施のうち4回が100人超の参加者であった。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	引き続き積極的に町内会や老人会・PTA等からの要請に応えたい。一方で、スポーツ推進委員の高齢化、人材不足が懸念される。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	ニュースポーツ教室等参加者の要望や推進委員の意見等を把握し、より良い事業内容の検討を行い、市民の生涯スポーツ振興を推進する。
	R7方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	全国大会参加支援事業
R5年度 事業名	全国大会参加支援事業

総合戦略 体系	335	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	全国大会等に出場する選手を顕彰することで、競技力向上を目指すとともに、出場者の財政負担の軽減を図る。				
	概要	①中学生以下に限り、北陸大会以上の地区大会等に出場する選手、監督、コーチ、トレーナー等に対し5千円を交付する。（ただし、団体競技・種目によっては1競技20人分を限度とする。） ②国民体育大会、全国大会等に出場する選手、監督、コーチ、トレーナー等に対し8千円を交付する。（ただし、団体競技・種目によっては1競技20人分を限度とする。） ③海外大会・遠征等に参加する選手、監督、コーチ、トレーナー等に対し1人30千円または20千円を交付する。 ④全国高等学校甲子園大会は50万円、全国高等学校駅伝大会は20万円を出場するチームに交付する。 ※中体連等が主催の北信越、全国中学校体育大会参加については、学校教育課対応につき対象外				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	鯖江市文化芸術・スポーツ活動全国大会等出場激励費交付要綱に基づき、対象者へ激励費を支給する。	
	現在	市直営				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	支援率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	交付対象者への支援率(支援件数/要望件数)		達成率	100	100	100	100	
				実数値	195/195	423/423	414/414	464/464	
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,000	5,000	5,000	4,000	4,000		事業タイプ	単独事業
	決算額	856	1,539	3,112	3,421	3,370		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	6	2	201	体育振興諸経費	11,268	4,000
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	4,000

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善	
	9点～16点	維持または 事務改善		

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	全国大会等に出場する選手を顕彰し、自己負担の軽減を図ることで、大会出場に対する選手のモチベーションを高める。福井国体で得た輝かしい成果を継承し、さらにはオリンピックでの地元選手の輩出を目指すとともに競技力向上に寄与する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	R5年度99件414人の申請に対して全件の激励金交付を行い、選手のモチベーション向上および競技力向上に寄与した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	市内スポーツ団体等に同事業が認知・定着しており、積極的に活用されている。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	体操振興事業補助事業
R5年度事業名	体操振興事業補助事業

総合戦略体系	335	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
--------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

PLAN計画

部署名	スポーツ課		開始年度	0	終了年度	9999
目的	国際・全国レベルの選手を招聘し、優秀指導者の指導を受け国内外で競える選手の育成を図り、鯖江市からの代表選手を輩出するとともに、選手の活躍を市民が一体となって応援し「体操のまち鯖江」の振興を図る。					
概要	国際・全国レベルの選手を招聘し、優秀指導者の指導を受けることにより競技力向上を図る。					
法令等根拠			実施形態	内容	鯖江市教育補助金等交付要綱に基づき、国際・全国レベルの選手を招聘した各種大会・イベントや合宿の開催、または優秀指導者の指導を受けることにより競技力向上を図るなど、「体操のまち鯖江」を推進する。	
現在	補助金等交付					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	年間指導回数		回	目標値	2	2	200	200	200
				実績値	1	2	201	162	
	計算根拠	2023(R5)より成果指標変更 R4まで「選手強化指導人数」→R5より「年間指導回数」		達成率	50	100	100.5	81	
				実数値					
			ランク	C	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,500	1,350	1,350	1,350	648		事業タイプ	単独事業
	決算額	720	648	648	648	648		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	6	2	201	体育振興諸経費	11,268	648
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	648

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	「体操のまちさばえ」を継続的に推進し、地元選手の育成や競技の普及に繋げていきたい。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	海外から招聘した優秀指導者による体操指導を年間201回実施し、次世代を担う選手の育成に努めた。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	今後も鯖江市体操協会と情報共有し連携しながら、効果的な事業を検討する。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	引き続き、地元選手の競技力向上および市民の体操競技に対する関心や理解度の向上に努め、「体操のまちさばえ」を推進する。
	R7方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	つつじマラソン開催事業
R5年度 事業名	つつじマラソン開催事業

総合戦略 体系	345	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生涯スポーツの推進
------------	-----	--------------------------------	------------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民だれもが気軽に参加できるよう多種多様な種目を実施し、市民の健康づくり・体力づくりを図る。				
	概要	県内外から選手を募り、楽しみながら走る市民マラソンを開催する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	市からは実行委員会に対し負担金を支出し、toto助成も活用しつつ事業を実施している。参加申込や計測業務等の専門的知見が必要とされる業務については、既に専門業者に委託している。	
	現在	その他				

	活動指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	マラソンの開催			回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1	1	1	
	成果指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	マラソン申込者数			人	目標値	3,200	1,500	1,800	2300	2400
					実績値	674	947	2,211	2,441	
	計算 根拠	2022年度 目標値変更 県民限定 ハーフ中止 コロナ禍のため			達成率	21.1	63.1	122.8	106.1	
					実数値					
				ランク	C	C	A			
前年度 ランク B、Cの 理由										

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,000	6,000	6,000	6,430	6,430		事業タイプ	単独事業
	決算額	2,868	3,166	5,863	6,116	6,271		経費区分	物件費
	【単位：千円】								

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	6	2	204	各種スポーツ大会開催費	7,130	6,430
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	6,430

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	(独)日本スポーツ振興センター助成金		4,000	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	4,000

事業要員	正規職員	0.6
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
13	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	昨年度コロナ禍前(令和元年度)の大会規模に戻したところだが、昨年度指摘を受けた女性ランナーの区分等を見直し実施。昨年度まだ十分ではなかったおもてなしの点でも、昨年以上の出店数を見込んでいる。鯖江つつじマラソンは、市民マラソン大会として認知度が高く、誰もが気軽に参加でき、健康づくり・体力づくりや、家族とのふれあい、仲間との親睦を図る意味でも有意義なイベントとして定着しており、今後も鯖江市を有効にPRする事業として維持したい。	
来年度へ向けて	R5年度実績 R元年度以来4年ぶりに制限なし(5種目21区分+エキシビジョン)で、令和5年5月12日に開催した。エントリー数は2,038組2,211人とコロナ禍前の3,000人超レベルにはまだまだ及ばないものの、県外からの参加者503組507名を含め多くの参加者にエントリーいただいた。参加者からは厳しい意見もあったが、全体的には好意的な意見を頂戴した。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 R5大会後、女性ランナーや高齢者ランナーの区分等を見直しの意見等をいただき、R6年大会は一部女性ランナー区分の見直しを実施した。(高齢者ランナー区分の新設は参加者数の問題で見送り)これ以外にも、スタート順の見直しやスタート位置への進入路といった課題が残る。そして何よりコース見直し問題が解決していない。さらに、日常用車いすでの参加を希望する声も寄せられている。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 参加者および運営要員の安全を確保した大会実施に努める。また、コースの変更について、関係団体や関係機関との調整も含め検討を進める。 R7年度は「市制70周年記念・東公園陸上競技場管理棟落成記念」の冠を付けた大会とし、ゲストランナーを招聘するとともにおもてなしの充実を図る。競技では「日常用車いす」での参加をOKとし、健康者と障がいを持った方が一緒に参加できる部門(3kmの部)を設ける。	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	スポーツ少年団活動補助事業
R5年度 事業名	スポーツ少年団活動補助事業

総合戦略 体系	335	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	「スポーツを通じて青少年のからだところを育てる組織を地域の中に」を願いとする、スポーツ少年団の加入促進を図るとともに、近年の核家族の進展に伴う学童保育の要望にも対応できるよう、その受け皿として、スポーツ少年団活動や、その活動を通じて総合型スポーツクラブへの加入促進を図りながら、スポーツ振興と青少年の健全育成を図る。				
	概要	スポーツ少年団の理念に基づく活動ができるよう、その活動費を補助する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	鯖江市教育補助金等交付要綱に基づき、補助金を交付している。	
	現在	補助金等交付				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	スポーツ少年団への加入率		%	目標値	14	15	16	17	17
				実績値	17.1	17.2	17.8	16.3	
	計算 根拠	スポーツ少年団登録者数/全児童数	達成率	122.1	114.7	111.3	95.9		
			実数値	688/4,017	677/3,941	663/3,715	609/3,638		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	500	450	500	500	500		事業タイ	単独事業
	決算額	500	450	500	500	500		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	6	2	602	スポーツ少年団活動費補助金	500	500
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	500

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1			
	2			
	3			
	4			
5以降				
			合計	0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	各単位団体が行う団員募集活動に対する支援を継続するとともに、指導者および保護者に研修の機会を設けるなど、スポーツ少年団活動の質の向上と、より多くの児童が健全にスポーツに親しむ環境づくりに努めていく。また、小学生スポーツ体験ラリース事業を取り入れながら、小学生がいろいろなスポーツを体験し、自分にあったスポーツを見つけられるよう支援する。	
来年度へ向けて	R5年度実績 各単位団体が行う団員募集活動の支援(ポスター・チラシの作成、入部体験イベント開催等)に対し1単位団あたり上限4,000円を補助)を行い、団員加入率の向上につながった。【R5年度末スポ少登録者数663人/R5年度末小学校児童数3,715人＝17.8%】 R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 スポーツ少年団は1962年に創設され、その活動は世の中にも定着しているが、近年、加入率は成果指標を上回っているものの、少子化の進行や子供の習い事選択肢が増えたこと等が要因にて加入率の低下が懸念される。昨年に引き続き単位団への団員募集支援は継続するが、R6年度は熱中症計の購入補助(1単位団上限2,000円)を新設したため、団員募集支援も同額(1単位団上限2,000円)とした。 実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 引き続き、各単位団体の活動を支援し、スポーツに触れる機会を増やし、児童の健全育成の環境づくりに努める。 R7方向性⇒ 維持 CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	開放学校開催事業
R5年度 事業名	開放学校開催事業

総合戦略 体系	345	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生涯スポーツの推進
------------	-----	--------------------------------	------------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	学校施設の利用による、生涯スポーツの振興。				
	概要	小学校(12校)、中学校(3校)の体育館および校庭を生涯スポーツ振興の地域拠点として開放する。				
	法令等 根拠	鯖江市立学校体育施設の開放に関する規則	実施 形態	内 容	小・中学校の体育館の開放の促進を図り(利用調整業務含む)、併せて利用に伴う消耗品の購入や施設修繕を行い、地域スポーツの振興を図る。	
	現在	市直営				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	開放学校実施日数		日	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
				実績値	3,192	4,095	4,384	4,375	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	学校開放施設の延べ利用者数		人	目標値	87,000	87,000	100,000	100,000	100,000
				実績値	93,635	116,395	136,167	154,173	
	計算 根拠			達成率	107.6	133.8	136.2	154.2	
				実数値					
ランク				A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	2,453	1,407	2,207	2,218	2,229
決算額	1,985	558	2,062	1,808	1,260

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	10	6	2	202	生涯スポーツ推進事業費	5,506	2,229
2							
3							
4							
5以降							
						合計	2,229

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	使用料	1,100
2		
3		
4		
5以降		
		合計 1,100

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある

合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない

有効性

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

取組内容

小・中学校(15校)の体育館、グラウンドを生涯スポーツ振興の地域拠点として開放し、学校の利用規定と施設維持管理に配慮しながら、地域スポーツの発展に資することを目的として事業を維持していきたい。昨年度、全小中学校にスマートロックを設置したところで、今年度から本格運用を開始する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

コロナ禍からの回復により各小中学校体育館等の稼働率が上がってきた。懸案であった小中学校体育館の鍵の受け渡しについては、R5年度中に全地区スマートロック化し本格運用に入ったことで、利用団体にとって利便性が向上した。また、地区公民館での負担減にも一役買っている。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

公共施設の長寿命化のため仕方のないことであるが、開放学校で利用している体育館等が長期間にわたり使用できなくなるケース(例 鯖江中大規模改修など)が今後増えていくため、利用団体の活動にも影響が出てくる。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

生涯スポーツの地域拠点および活動の場として、継続して学校施設を開放することは、地域スポーツの発展に必要不可欠であり、施設の維持管理についても利用者の利便性向上のため、適切な修繕に努めていく。

R7方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業
R5年度 事業名	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業

総合戦略 体系	345	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生涯スポーツの推進
------------	-----	--------------------------------	------------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	総合型地域スポーツクラブへの活動支援により生涯スポーツの振興を図る。				
	概要	市内3つの総合型地域スポーツクラブによる市民ニーズに応じたスポーツ教室の開催等子どもから大人まで誰もが気軽に参加できる各種クラブ活動を支援し、スポーツ人口の増加および生涯スポーツの振興を図る。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	鯖江市教育補助金等交付要綱に基づき、3つのスポーツクラブ（さばえ・東陽・鯖江北）に対し補助金を交付し活動支援を行なう。	
	現在	補助金等交付				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	総合型地域スポーツクラブの加入人数		人	目標値	1,500	1,500	2,000	2,500	2,500
				実績値	2,025	2,089	2,554	2,804	
	計算 根拠			達成率	135	139.3	127.7	112.2	
				実数値					
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,450	4,900	4,900	4,900	2,362		事業タイ	単独事業
	決算額	5,433	4,893	4,893	4,893	2,355		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	6	2	203	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業費	2,560	2,362
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,362

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	市内の総合型地域スポーツクラブ3団体の財政支援を行いながら、連絡協議会等を通じた自立・統合への検討を継続していきたい。また、新たに各中学校区における地域クラブ活動の運営団体として、学校とも連携して中心的な役割を担ってもらう。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	R8年度からの中学校休日部活動の完全地域移行に向け、市内3クラブが運営団体として「地域クラブ活動」の責を担っている。中学生のクラブ加入が増えたことが会員数増の大きな要因である。3クラブ+3中学校による連絡協議会も積極的に開催している。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	当市における休日部活動の地域移行のタイムスケジュールでは、R5年度はまだ主体が「学校」であり「スポーツクラブ」と相互理解を深めていく段階であった。R6～7年度は、主体が「スポーツクラブ」「学校」「地域団体」の3者が並列という段階に入る。さらにR8年度からは主体が「スポーツクラブ」となることから、3つのスポーツクラブが当該事業のマネジメントをスムーズに行えるよう、自立を目指した取り組みを支援していく必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	引き続き、総合型地域スポーツクラブ3団体との連携および財政支援等を行い、市民の生涯スポーツ振興を図るとともに、各クラブの自立に向けた支援のあり方についても検討する。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	スポーツ全国大会・企画イベント等補助事業
R5年度 事業名	スポーツ全国大会・企画イベント等補助事業

総合戦略 体系	335	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	スポーツ課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	鯖江市における各種スポーツ大会（全国・北信越）およびスポーツイベントの開催を支援し、鯖江市のPRおよび競技力の向上を図る。				
	概要	鯖江市における各種スポーツ大会（原則、全国・北信越レベルの大会）および特別に企画されたスポーツの普及・振興につながるイベントの開催に対して支援を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	鯖江市教育補助金等交付要綱に基づき、各種スポーツ大会の開催支援を行うとともに、各種種目の競技力向上と鯖江市の観光PRを行う。	
	現在	補助金等交付				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	支援率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	補助金対象者への補助率(補助件数/要望件数)		達成率	100	100	100	100	
				実数値	2/2	2/2	1/1	2/2	
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,875	2,135	3,200	400	500		事業タイ	単独事業
	決算額	2,875	1,700	2,099	39	100		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	6	2	204	各種スポーツ大会開催費	7,130	0
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	0

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有効性	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	鯖江市における各種スポーツ大会の開催を支援することにより、スポーツの普及、振興に寄与するとともに、競技団体の活性化、地元選手の競技力向上を推進し、鯖江市のPRを図る。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	R5年度は県内各地で「日本スポーツマスターズ2023福井大会」が開催され、当市では9/16(土)17(日)の日程で男女バレーボール競技の一部を受け持った。当初、総合体育館と神明健康スポーツセンターの2会場で男女競技を行う予定であったが、参加チーム数減のため直前に「9/16総合体育館での男子競技」のみの開催となった。それでも、おもてなしブースを開設し「めがねのまちさばえ」「体操のまちさばえ」をPRした。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 競技団体の支援要望には積極的に対応することを基本方針とする。R6年度は、11月に東日本なぎなた選手権大会が総合体育館で開催される予定のため、大会の成功に向け競技団体への支援を行う。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 事業の趣旨に合った大会等開催について今後も積極的に支援し、競技団体の活性化、地元選手の競技力向上を推進し、鯖江市のPRを図る。	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	福井県駅伝競走大会開催補助事業
R5年度 事業名	福井県駅伝競走大会開催補助事業

総合戦略 体系	345	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生涯スポーツの推進
------------	-----	--------------------------------	------------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	スポーツ課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民の駅伝競技への関心を深め、市内の小学校・高校・一般の競技力向上を図る。さらに、駅伝を通したまちづくりを行う。				
	概要	福井県内の小学校・高校・一般の駅伝大会を開催する経費の一部を補助する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	鯖江市教育補助金等交付要綱に基づき、市陸上競技協会に対し大会開催経費の補助を行う。	
	現在	補助金等交付				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	大会開催数		大会	目標値	3	3	2	2	2
				実績値	2	2	2	2	
	計算 根拠	「一般、高校」、「中学校」の2回		達成率	66.7	66.7	100.0	100.0	
				実数値					
			ランク	C	C	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	475	475	427	400	400		事業タイプ	単独事業
	決算額	475	427	427	400	400		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	6	2	204	各種スポーツ大会開催費	7,130	400
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	400

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	0
	※所要時間	24

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	鯖江市での大会開催を支援することで、市民の駅伝競技への関心を深め、市内の中学校・高校・一般の競技力向上を図るとともに、駅伝を通したまちづくりを展開し、全国へ本市の情報発信を継続していきたい。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	福井県駅伝競走大会の開催を支援し、市民の駅伝協議に対する関心を深め、本市の魅力を情報発信した。なお、高校駅伝の部では地元鯖江高校が男女とも優勝を勝ち取り、全国高校駅伝への切符を手にした。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	市陸上競技協会としてスタッフの確保等が年々困難になってきている中、県内各地持ち回り開催の検討が必要ではないか等、県陸上競技協会や高体連と話し合いを継続して行っていく。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	実行委員会の中で、開催地の持ち回り等運営方法についての検討を働きかけることとするが、現状では県駅伝競走大会の開催については引き続き支援し、駅伝を通して本市の魅力を発信していきたい。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	生涯スポーツ振興交付金事業
R5年度 事業名	生涯スポーツ振興交付金事業

総合戦略 体系	345	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生涯スポーツの推進
------------	-----	--------------------------------	------------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	スポーツ課		開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	(一社) 鯖江市スポーツ協会へ事業委託を行い、生涯スポーツの振興と競技力向上を図る。					
	概要	(一社) 鯖江市スポーツ協会に対して、市民体育大会、市民スポーツの日等各種事業の実施について、事業交付金として交付し、スポーツ協会による主体的な事業展開を図るとともに、生涯スポーツの振興、競技力向上を推進する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	鯖江市教育補助金等交付要綱に基づき、市民スポーツの日事業、村上市との交流事業、各種スポーツ大会事業、市民スポーツ大会事業等にかかる事業交付金を交付し、市スポーツ協会による主体的な事業展開を図る。		
	現在	補助金等交付					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	各種スポーツ大会開催数		大会数	目標値	20	20	20	20	20
				実績値	30	24	22	26	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	各種スポーツ大会やイベントの参加者数		人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績値	2,593	5,512	7,238	7,841	
	計算 根拠			達成率	51.9	110.2	144.8	156.8	
				実数値					
			ランク	C	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	17,400	17,820	17,820	17,820	17,820		事業タイ	単独事業
	決算額	10,784	13,670	17,520	17,820	17,820		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	6	2	601	生涯スポーツ振興交付金	18,259	17,820
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	17,820

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	(一社)鯖江市スポーツ協会に対して事業交付金として交付し、市民スポーツ大会や市民スポーツの日の開催、各種目団体の競技力向上を目的とする支援事業等を委託し、スポーツ協会の機動力、リーダーシップに基づいた事業展開を図ることで、生涯スポーツの振興を推進していく。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	R4年度は「村上市とのスポーツ交流事業」が新型コロナウイルスの影響により中止となったが、R5年度は7事業全てを実施することができた。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	徐々にコロナ禍前の状況に戻りつつあるが、各競技大会やスポーツイベント等への参加者数や施設利用者数はコロナ禍以前のレベルまでには回復していない。そのような中、R5年度から総合体育館を福井ブローウィングスの練習会場として貸し出す等新たな試みにチャレンジしている。福井ブローウィングスとの関係は良好で、R6年度はJASISでも連携・協力していく予定である。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	引き続き(一社)鯖江市スポーツ協会による機動力、リーダーシップに基づいた事業展開により、市民の生涯スポーツ振興を推進する。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	幼児体操ふれあい委託事業
R5年度 事業名	幼児体操ふれあい委託事業

総合戦略 体系	335	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	スポーツ課	開始年度	2007	終了年度	9999
	目的	幼稚園・保育園児を対象に、運動の楽しさが体験できる環境づくりを行う。				
	概要	鯖江市体操協会へ委託し、市内幼稚園・保育園に運動遊びの訪問指導（鉄棒・跳び箱・マット等）を実施する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	鯖江市体操協会へ業務委託し、市内幼稚園・保育園の訪問指導を行う。	
	現在	民間等委託（全部）				

活動指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
巡回指導回数			回	目標値	160	160	90	90	89
				実績値	69	89	89	89	
成果指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
幼児ふれあい事業参加人数			人	目標値	4,300	4,000	4,000	3,500	3,000
				実績値	2,160	2,911	3,295	3,028	
計算 根拠				達成率	50.2	72.8	82.4	86.5	
				実数値					
				ランク	C	C	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	成果指標は、コロナ禍を受け2022年度から4,300人→4,000人へと下方修正したが、実際の参加者数は回復傾向にはあるものの、目標値のレベルが高く達成ランクAには及ばなかった。(下方修正のレベルが甘かった。)								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	855	763	832	832	950		事業タイプ	単独事業
	決算額	572	589	832	832	950		経費区分	補助費等
	【単位：千円】								

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	6	2	202	生涯スポーツ推進事業費	5,506	950
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	950

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	0
	※所要時間	5

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	市内の保育所(園)・幼稚園に通う児童を対象に、市体操協会に所属する指導者が、鉄棒・マット・跳び箱等の運動遊びを通じて運動の楽しさを教え、小中学校に向けた基礎体力づくりや健康づくりを行うとともに「体操のまちさばえ」を推進する。	
来年度へ向けて	R5年度実績 実施回数は84回(前年89回)で5件減であったが、参加人数は3,295人(前年2,911人)で384人の増となった。コロナ禍前のR1年度のレベル(3,595人)にはまだ及ばないが徐々に回復してきている。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 R5年12月に実施された提案型市民主役事業プレゼンテーション時に、事業実施にあたり燃料費等高騰している社会情勢を考慮すべきとの意見をいただき、これを受けR6年度においては、会場(教室)への移動に係る燃料代の高騰を鑑み、単価(@1,750→@2,000)を改善した。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 今後も体操を通じて児童の基礎体力づくりや健康づくりを行い、「体操のまちさばえ」を支えていく子どもたちの育成に注力していく。	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	幼児体操ふれあい事業
市民主役事業にかかる額(単位千円): 950	
R7年度事業名	幼児体操ふれあい事業
市民主役事業にかかる額(単位千円): 950	

R6年度 事業名	障がい者向けのスポーツ振興事業
R5年度 事業名	障がい者向けのスポーツ振興事業

総合戦略 体系	345	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生涯スポーツの推進
------------	-----	------------------------------------	------------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	スポーツ課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	障がいのある人の健康・体力・生きがいがいづくりに向け、身近な地域で楽しくスポーツに参加でき、障がい者の自立と社会参加を支援し、高齢者・児童も含めた社会全体のノーマライゼーションを構築する。				
	概要	障害者も健常者とともに、スポーツを通じて心身の健康や生きがいを共有できるよう、機会の提供を行い、自立と社会参加を広げていく。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	市スポーツ推進委員が実施可能な計画のもと、障害者スポーツ教室を開催する。	
	現在	市直営				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	教室、研修会等の実施回数		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	5	7	2	6	
	障がい者用運動器具購入数		個	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	2	1	1	4	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	教室、研修会等の参加人数		人	目標値	20	150	200	300	300
				実績値	211	288	291	285	
	計算 根拠	高齢者出前講座等含む	達成率	1.055	192.0	145.5	95.0		
			実数値						
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	97	92	47	48	48		事業タイプ	単独事業
	決算額	89	70	39	48	48		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	6	1	201	保健体育事務諸経費	6,405	48
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	48

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	障がい者を対象としたスポーツ教室開催のノウハウについての情報収集に努め、障がい者団体の協力のもと、市スポーツ推進員によりイベントを展開し、障がい者のスポーツを通じた健康増進や生きがいづくりに寄与する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	市内投産施設と連携し、体験型バラスポーツイベント「チャレンジ！ポッチャ」を開催した。(R5.6.16、総合体育館、8チーム30名参加)運営にあたってはスポーツ推進委員協議会の協力を得た。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	昨年度開催し好評で合った「チャレンジ！ポッチャ」をR6年度も実施する。(R6.6.28、総合体育館、参加申込34名、市職員2名＋スポーツ推進委員7名により実施予定)施設からは、入所者の人達も楽しみにしており是非今後も続けてほしいという要望を受けており、継続していくべき事業であると考えている。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	施設側との協議を踏まえ、障害の度合いによりどのようなスポーツが適当か検討しつつ、障がい者向けスポーツ大会(イベント)を継続開催して行く必要がある。
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	小学生スポーツ体験事業
R5年度 事業名	小学生スポーツ体験事業

総合戦略 体系	335	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	子どもがいきいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	--------------------------------	----------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	スポーツ課	開始年度	2022	終了年度	2024
	目的	新型コロナウイルスによる小学生のスポーツ離れ、体力低下の回復を目指すとともに、スポーツをするきっかけを与え、いろいろ体験することにより自分に適したスポーツを見つけ、生涯スポーツにつなげる。				
	概要	市小学校12校の児童を対象に体験ラリーカードを配布し、市内のスポーツ少年団のスポーツ種目を3種目体験し、簡単なアンケートをとる。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容 市内各小学校を通じ体験ラリーカードを配布し、市内各スポーツ少年団で希望する種目を3種目体験してもらい、自分に適したスポーツを見つけ、取り組みきっかけ作りを実践する。		
	現在	市直営				

活動指標	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	スポーツ少年団加入団員数およびスポーツクラブ加盟者(小学生)数→R5より「スポーツ体験ラリー参加者数」に変更		人	目標値		1,220	200	200	200	
				実績値		1,332	125			
	成果指標									
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	スポーツ少年団およびスポーツクラブ加盟者数における前年度比較による増加率→R5より「スポーツ少年団加入率」に変更		%	目標値		106	16	17	17	
				実績値		104	17.8			
	計算 根拠	本年度登録者数計/昨年度登録者数計			達成率	98.1	111.3			
					実数値		663/3,715			
				ランク		A	A			
	前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			850	308	118		事業タイプ	単独事業
	決算額			145	97			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	6	2	202	生涯スポーツ推進事業費	5,506	118
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	118

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0
	※所要時間	56

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	コロナ禍で体力が落ちた小学生に、いろいろなスポーツを体験してもらいスポーツ少年団等の加入促進につなげたい。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	小学校12校の児童を対象に、スポーツ体験ラリーを行い、小学生がスポーツを始めるきっかけづくりとした。(参加人数125人)
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	R6年度で3年目となる事業だが、各学校およびスポーツ少年団への事業説明はしっかりと行っているものの、各学校によりスポーツ体験ラリーへの参加数に大きく差があり、この傾向は変わっていない。スポーツ少年団への加入促進にどれだけ効果が出ているのかも不明瞭。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	R4～6の3カ年実施してきたが、本事業参加者とその後の各スポーツ少年団加入促進の成果の検証が困難。参加者自体も頭打ちで増える可能性が低いため、R6年度までの事業とする。
	R7方向性⇒	廃止
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由 R4～6の3カ年実施してきたが、本事業参加者とその後の各スポーツ少年団加入促進の成果の検証が困難。参加者自体も頭打ちで増える可能性が低いため、R6年度までの事業とする。	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
市民主役事業にかかる額(単位千円):		0
R7年度事業名		
市民主役事業にかかる額(単位千円):		0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	Saturdayウォーキング事業
R5年度 事業名	Saturdayウォーキング事業

総合戦略 体系	345	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生涯スポーツの推進
------------	-----	--------------------------------	------------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	スポーツ課		開始年度	2023	終了年度	9999
	目的	幅広い世代の市民を対象に、専門家の指導によるウォーキングを開催し、健康を意識した運動の習慣化と運動・スポーツの推進を図る。					
	概要	ボールを持って歩くノルディックウォークを講師の指導を受け、毎週土曜日に朝7時から1時間程度、西山公園周辺を歩く。何時からでもスタートできるように、常時初心者には歩き方の講習を受けることができ、自分の体力等に合わせチーム編成をしていき、歩く楽しさと爽快感を体感してもらう。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	気軽に運動できる環境づくり・運動習慣化の取り組みの一つとして実施。講師はスポーツ推進委員に依頼し実施している。		
	現在	市直営					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	開催回数		回	目標値			20	20	20
				実績値			23	19	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	参加人数		人	目標値			200	200	200
				実績値			340	251	
	計算 根拠			達成率			170.0	125.5	
				実数値					
			ランク			A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額				120	120		事業タイプ	単独事業
	決算額				119	109		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	6	2	202	生涯スポーツ推進事業費	5,506	120
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	120

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0
	※所要時間	60

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有効性	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	
取組内容	コロナ禍で低下した体力を向上させるために、基礎的な歩くことから始め、運動やスポーツにつなげたい。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	6/17～11/25までの全23回実施予定のうち、雨天中止が6回で17回実施した。6月の開始から徐々に回数を重ねるたびに参加者が増加傾向にあったが、最終の11月が天候不順で中止が多かったため340人とどまった。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	R6年度は6/15～11/30の期間で全24回を予定している。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	参加者からは好評であり、今後も継続実施していきたい。
	R7方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	